

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		令和元年 7月 30日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府綾部市城山町7番1		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 三ツ星ベルト技研株式会社 綾部生産システム開発センター 代表取締役 羽村 健

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001(2015年版)
適用範囲	綾部工場
導入年月日	2002年 1月19日
認証番号	2602096
基本方針	三ツ星ベルトグループは、ゴム・プラスチック等の製品群のメーカーとして、環境への多大なかかわりをもっていることを認識し、全ての事業活動において環境との調和をめざした製品技術・生産技術などの開発により技術領域を広げていくとともに、「人を思い、地球を思う」の基本理念のもとに地球規模の視野に立った環境活動を行い、社会に貢献する企業づくりを推進する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> ・電力原単位を2018年度実績3,615KWH/t以下 ・蒸気原単位を2018年度実績12.047t/t以下 ・ゼロエミッションの継続維持(埋立廃棄物排出量/廃棄物総排出量=1%未満)
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・A棟生産チラー省エネタイプへの更新 ・A棟コンプレッサーをINVタイプへ更新 ・A棟照明LED化へ更新
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・A棟生産チラー省エネタイプへの更新実施 ・A棟コンプレッサーをINVタイプへ更新実施 ・A棟照明LED化へ更新実施
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	計画通りに取り組む事ができた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について半年に1回確認を行っている。これまでに違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境方針、規定、要領の大きな見直しは必要ない。環境方針の下、環境目標達成に向け、EMSの運用について、リスク及び機会の発生源となる当センターの利害関係者の要求事項を含む順守義務、重要環境側面への取り組みは適切に行われ、妥当性、有効性は得られている。廃棄物については、ゼロエミッションが維持継続できた。2019年度も引き続き継続が必要である。エネルギー使用量削減に関しては、蒸気目標は達成できたが、電力目標に関しては目標未達成に終わった。2019年度も、2018年度原単位実績以下を目指し、施設課を中心に改善活動（蒸気漏れ対策、LED化など）に努めること。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。